

「皆与志小学校の棒踊り伝承活動の取組」

1. 学校名	皆与志小学校
2. 学年・人数	3～6年生 22人
3. 日時・場所	(1) 練習の日時・場所 令和6年5月 皆与志小学校体育館 (2) 発表の日時・場所 令和6年5月26日 皆与志幼・小・校区合同運動会
4. 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事、伝統工芸品について	(1) 名称 「棒踊り（ぼうおどり）」 (2) 由来 江戸時代、五穀豊穡と無病息災を祈願するために踊られ、願立祭当日に地域の小鷹神社で奉納踊りをし、各地域の公民館で踊られるようになった。 (3) 構成等 キョゲン・シベ・打分・小無双・鎌の5つの踊りで構成。 浴衣にたすきをまき、シベは左手にキョゲン棒、右手にシベをもち中腰から踊りはじめる。“エンヤーサッサー”や“ヤーア・シ”“ア・ソイソイ”のかけ声をかけ踊る。特に鎌は勇壮な踊りになっている。
5. 文化財伝承・活用の取組において地域との連携や工夫した点等	学校と地域が連携協力しながら、棒踊りを継承していくために、3年生から6年生まで4年間を通して学ぶ時間を設けている。保存会の方から学んだ踊りを下の学年に継承するために、高学年が下学年に踊りを指導することができるようになる。
6. 取組の様子（練習状況、発表の場等）	 練習の様子  運動会での発表
7. 感想・意見 (参加児童生徒・保護者・保存会・教員等)	【児童】 ・ 保存会の方と一緒にしっかり踊ることができた。 【教職員】 ・ 6年生が中心になって、素晴らしい披露になった。この棒踊りの取組を通して子供たちは皆与志のよさをよりいっそう感じ取っていると思う。 【保存会から】 ・ 昨年以上に踊りが形になってきている。今後も、伝承活動の時間を確保してほしい。 【保護者から】 ・ 子供たちの掛け声が校庭に響き、一生懸命踊っている姿がとても素晴らしい。教えてくださる地域の方にも感謝したい。